

**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和合
担当圏域レベル）開催報告書**

1 開催日時	令和 7 年 2 月 3 日（月） 9 時 30 分 ～ 11 時 00 分
2 開催場所	和合せいれいの里 研修センター
3 参加者	29名
委員11名（住吉・和合地区5名、富塚地区6名）、関係機関12名、事業所6名	
4 協議の内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 住吉・和合、富塚地区生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 協議内容について</p> <p>① 今年度第1回、第2回 協議体会議の振り返り</p> <p>PowerPoint資料を使用し、説明を行った。</p> <p>第1回協議体は、高台協働センターで開催した「地域みんなの外出応援！歩行器&車椅子体験会」について、富塚地区で実施した移動スーパーの導入、高齢者のゴミ出し体験会（富塚協働センター第4回ごみゼロフェスタ）について、他地区で実施している移動支援の取り組みについての内容を振り返りした。</p> <p>第2回は、第1回の内容の振り返り、三方原地区社会福祉協議会会長より「三方原地区社会福祉協議会「移動支援サービス」の取り組みについて報告いただいたことを振り返りした。</p> <p>4. 報告</p> <p>① 富塚地区社協における取組み（歳末福祉事業 友愛訪問）</p> <p>富塚地区社協副会長より、歳末事業友愛訪問の際に行われたアンケートについて、「友愛訪問まとめ」の資料に基づきながら、報告いただいた。アンケートの項目で、不便負担に感じていることでは、「特に困っていることはない」に答えた方が半数以上を占める一方で、買い物や通院、その他（家事、ゴミ出し）に困っている方も一定数いらっしゃることで、買い物や通院の移動手段では、家族・知人の送迎を利用している方が最も多いことなどを報告いただいた。</p> <p>② 住吉・和合地区社協における取組み（JamJamの木運動）</p> <p>住吉・和合地区社協会長より、浜松市社協だより令和6年8月号を使用しながら、報告いただいた。地域の庭や畑に実るみかんが食べきれずに地面に落ちてしまい、「もったいない」という気持ちから、ボランティアを募集し、夏みかんを収穫してジャムに加工する運動が始まった。ボランティアは、地域の方が多く集い、地域の高等学校、就労支援施設とのつながりも生まれた。楽しく企画を行う中で、地域とのつながりを深くできたら良いと報告いただいた。</p>

4. グループワーク

各地区の報告から身近な地域課題とその解決策について考える。

今回のグループワークでは、住吉・和合、富塚のグループで分けるのではなく、同じグループに入っただき、各委員や事業所が感じている身近な地域課題とその解決策について考えた。

5. 連絡事項

- ・年度替りによる所属や役職の変更について

6. 閉会 住吉・和合、富塚地区生活支援体制づくり協議体副会長

5 今後の見通し・ 必要な対応

第3回の協議体では、今年度の協議体会議での振り返り、各地区社協における取組みの振り返りを行った後、地区の枠組みを超えてグループワークを行い、身近な地域課題とその解決策について考えた。今回の協議体会議を通して、各地域の課題整理と地域の状況について、もう一度振り返ることができたと思う。

住吉・和合、富塚の両地区で「家事支援（ゴミ出し・草取り）が増加していること、今後も更なる増加が予想されること」など、両地区で共通する課題にも追及することができた。

今後は、「移動に伴う外出支援」の在り方だけではなく、各地区の細かな地域課題についても、同時並行で検討する必要があると考える。